

船舶事故等調査報告書

平成21年10月29日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009長第94号	
事故等種類	座洲	
発生日時	平成21年6月11日 18時10分ごろ	
発生場所	熊本県八代港 八代港第1号灯浮標及び同第2号灯浮標の間付近 (概位 北緯32°31.3′ 東経130°32.4′)	
事故等調査の経過	平成21年7月22日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 貨物船 第一トクヤマ、4,381トン 船舶番号、船舶所有者等 134781、株式会社トクヤマロジスティクス 乗組員等に関する情報 船長、三級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか9人が乗り組み、セメント約6,000トンを積載し、ほぼ満載状態において、船首約6.11m、船尾約7.19mの喫水で、八代港第1号灯浮標及び同第2号灯浮標間付近の、水路中央より右側を最微速力の約5.8ノットで航行中、平成21年6月11日18時10分ごろ、船底が海底に接触して、船体が左右に約3度傾斜して舵効が少し悪くなったが、衝撃はなく、数秒で元に戻り、そのまま着浅した。</p> <p>本船は、その後も支障なく航行を続け、入渠の際に調査した結果、損傷は認められなかった。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 西南西、風力 1 海象：潮汐 ほぼ低潮時</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり なし あり 八代港の内港地区に至る水路は、水深が約7～8mである。 当時、潮汐はほぼ低潮時であった。 本船は、ほぼ満載の状態、水路の水深に余裕がなかったが、高潮時を待たずに水路を航行した可能性があると考えられる。</p>
原因	本インシデントは、八代港において、本船がほぼ満載状態で、水深に余裕のない水路を航行する際、高潮時を待たずに入航したため、海底に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	